

# 令和5年度 下水道事業会計予算の概要

資料5

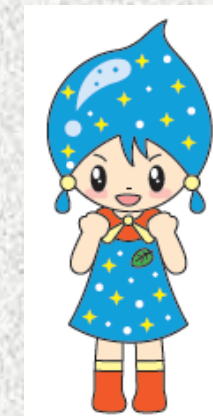
- 1 業務の予定量及び推移・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 2 収益的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P4
- 3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移・P6
- 4 資本的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P8
- 5 都市計画下水道事業受益者負担金収入の推移・・P10
- 6 建設改良費の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 7 企業債残高及び対事業規模比率の推移・・・・・・・・P12
- 8 主要な建設改良事業等について・・・・・・・・P13

水安全部 総務課



# 1 業務の予定量及び推移 ①

(消費税込)



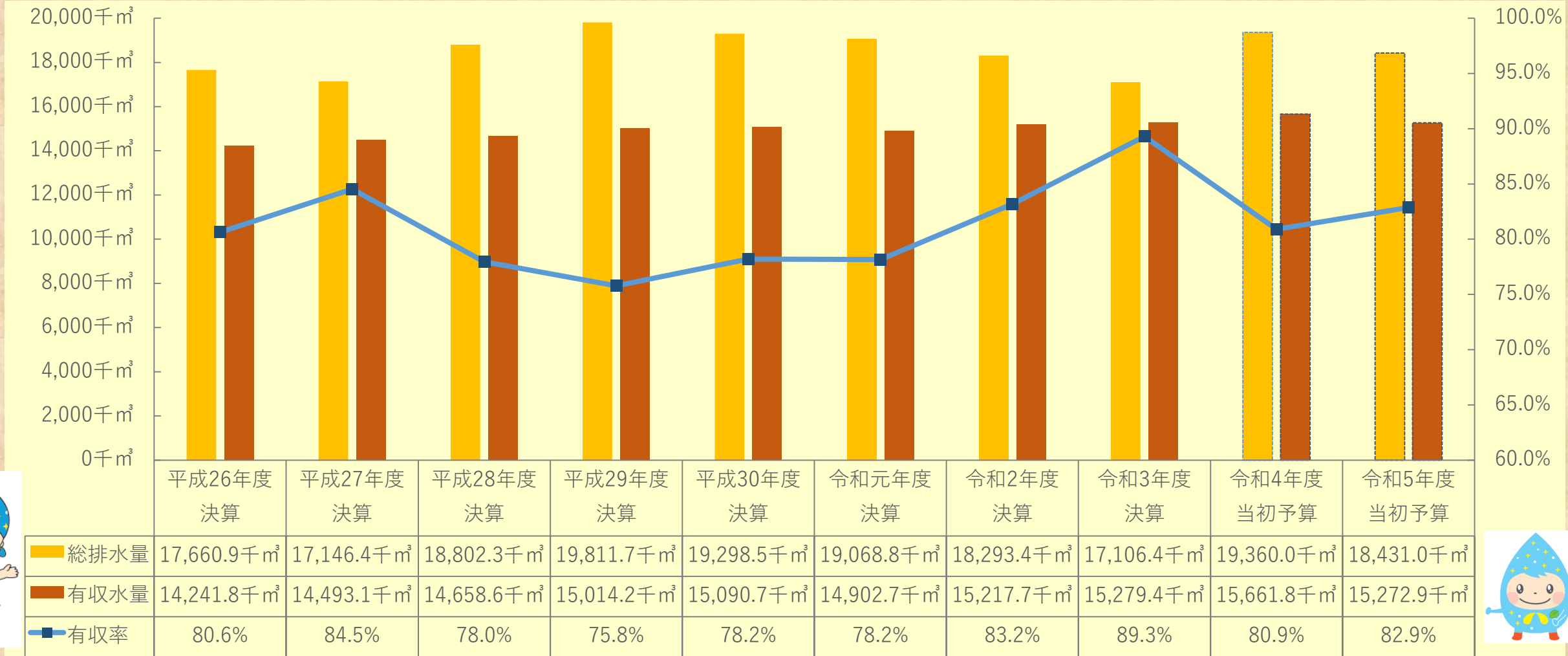
1 水洗化戸数	64,000戸	(前年度増減率 +1.9 %)
2 年間総排水量	18,431,000m <sup>3</sup>	(前年度増減率 ▲4.8 %)
3 一日平均排水量	50,358m <sup>3</sup>	(前年度増減率 ▲5.1 %)
4 主要な建設改良事業	2,189,541千円	(前年度増減率 +7.1 %)
①雨水整備事業	1,622,017千円	(前年度増減率 +58.8 %)
②汚水整備事業	484,625千円	(前年度増減率 ▲17.8 %)
③施設改良事業	82,899千円	(前年度増減率 +13.9 %)

区 分 \ 年 度	令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (当初予算)	令和5年度 (当初予算)
水洗化人口 ※1	127,221人	128,616人	131,421人	131,783人	134,483人
水洗化戸数 ※2	59,795戸	61,189戸	63,004戸	62,800戸	64,000戸
普及率	92.0%	93.6%	95.2%	95.7%	96.5%
総排水量	19,068,786m <sup>3</sup>	18,293,360m <sup>3</sup>	17,106,409m <sup>3</sup>	19,360,000m <sup>3</sup>	18,431,000m <sup>3</sup>
有収水量	14,902,742m <sup>3</sup>	15,217,737m <sup>3</sup>	15,279,363m <sup>3</sup>	15,661,826m <sup>3</sup>	15,272,908m <sup>3</sup>
有収率	78.2%	83.2%	89.3%	80.9%	82.9%
一日平均排水量	52,100m <sup>3</sup>	50,118m <sup>3</sup>	46,866m <sup>3</sup>	53,041m <sup>3</sup>	50,358m <sup>3</sup>

※1 決算値は事業統計の「水洗化人口」からの転記  
 ※2 決算値は「(年度末)水洗化戸数」

# 1 業務の予定量及び推移 ②

- **総排水量**・・・地下水位が高い本市の特性等から下水管路への不明水流入の影響が大きく、各年度の天候状況により増減。
- **有収水量**・・・大口使用者排出量の影響を受け増減。有収率は汚水整備の進捗により改善傾向、新年度は前年度比2%増加。



※有収水量と有収率：総排水量のうち下水道使用料徴収の対象となった排水量とその割合。使用料徴収対象外の排水量は、地下水等の不明水、漏水等。

# 2 収益的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科 目 等		年 度	令和5年度当初予算額 (A)	令和4年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)	
収益的 収 入	収益的収入(a)		2,712,894	2,823,016	△ 110,122	-3.9%	
	収入	営業収益(下水道使用料)	1,445,440	1,495,332	△ 49,892	-3.3%	
		営業収益(他会計負担金)	770,324	804,599	△ 34,275	-4.3%	
		その他下水道事業収益	497,130	523,085	△ 25,955	-5.0%	
	収益的 支 出	収益的支出(b)		2,557,089	2,656,077	△ 98,988	-3.7%
		支出	職員人件費	81,310	72,479	8,831	12.2%
			流域下水道費	663,516	696,960	△ 33,444	-4.8%
			委託料	293,953	327,318	△ 33,365	-10.2%
			修繕費・動力費	96,204	74,285	21,919	29.5%
			業務費	109,845	89,206	20,639	23.1%
		減価償却費・資産減耗費	1,118,487	1,134,978	△ 16,491	-1.5%	
		支払利息	116,359	120,883	△ 4,524	-3.7%	
	その他雑支出	77,415	139,968	△ 62,553	-44.7%		
収入及び支出の差額(c) = (a) - (b)			155,805	166,939	△ 11,134	-6.7%	



## ○主な増減理由

【当期純利益／純損失(税抜) = 131,868千円】

- ・ 収入・・・業務用、工場等の排水量の減少、雨水処理等に係る一般会計負担金の減少。
- ・ 支出・・・光熱水費上昇に伴う動力費、算定基準改定に伴う業務費の増加。その他雑支出(私道排水路整備補助金)の減少。

※ 減価償却費：現金支出を伴わない支出で、固定資産取得費用の全額を取得年度の費用とせず、耐用年数に応じて配分、各期相当金額を費用として計上するもの。  
 ※ 資産減耗費(固定資産除却費/たな卸資産減耗費)：現金支出を伴わない支出で、固定資産の減失等による除却に際し、未減価償却費を費用として計上するもの等。





# 2 収益的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



収入 27億1,289万4千円

収支差額  
1億5,580万5千円



支出 25億5,708万9千円

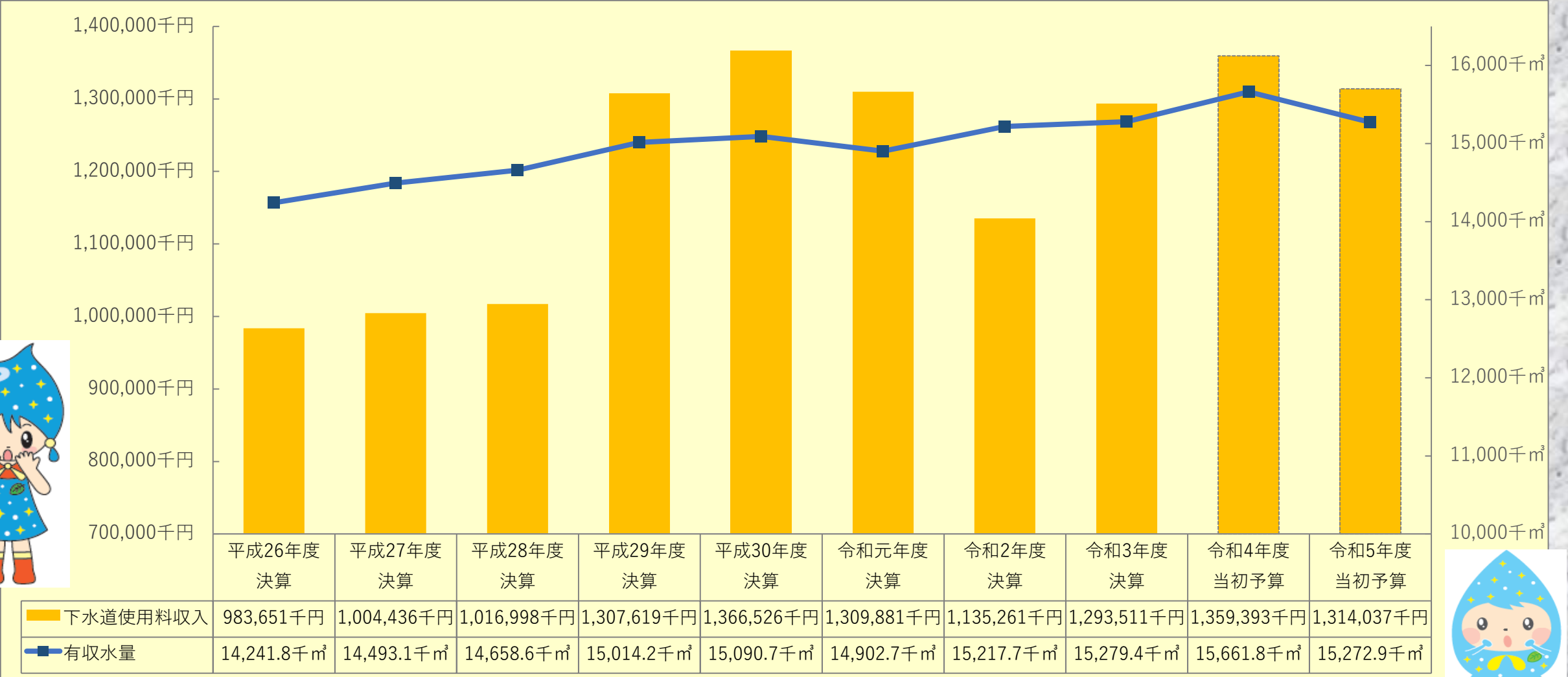
- 職員人件費 8,131万円
- 委託料 2億9,395万3千円
- 修繕・動力費 9,620万4千円
- 業務費 1億984万5千円
- 支払利息 1億1,635万9千円



# 3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移①

(消費税抜)  
※決算値が税抜表記のため

●下水道使用料収入 平成29年4月の料金改定により増収。平成30年度までは大口利用者排水量増加により増収傾向。以後、大口利用者排水量の減少により減収傾向。新年度は有収水量の減少に伴う減少を想定 ※R2基本料減免



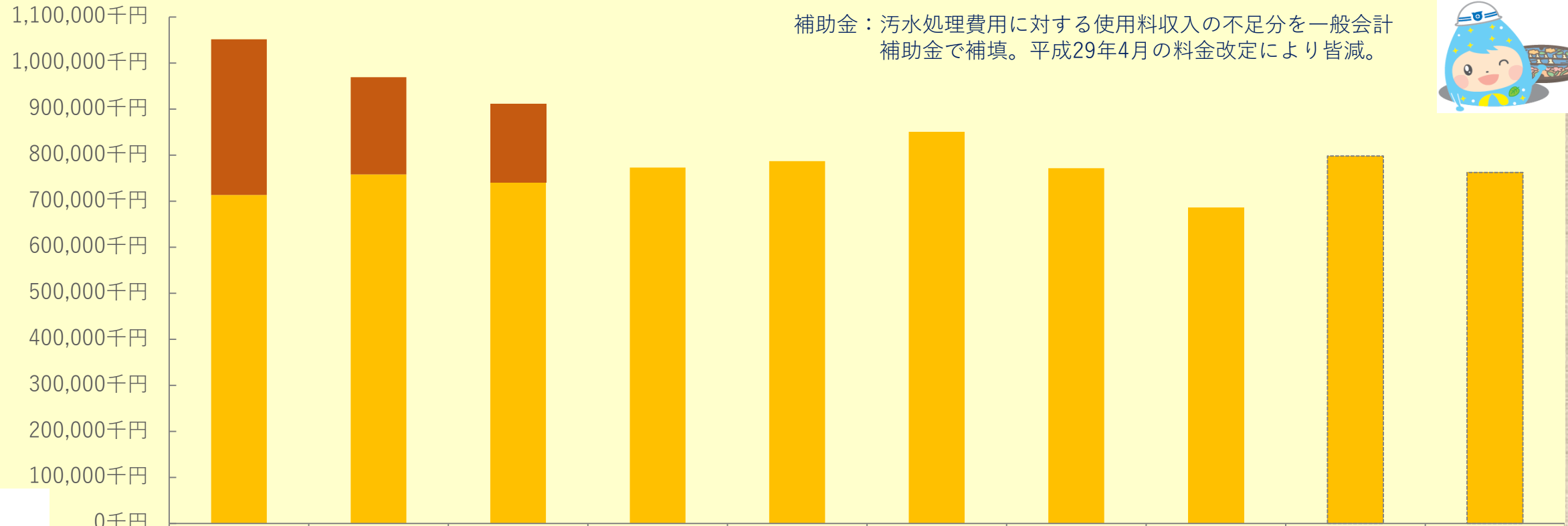
# 3 下水道使用料並びに負担金及び補助金収入の推移②

(非課税費目)

## ●一般会計負担金・補助金

雨水処理、児童手当、職員給与等に係る一般会計負担金については、ほぼその全額を占める雨水処理に係る負担金が、降雨量に比例して算定されるため、対象年度の天候により増減。

補助金：汚水処理費用に対する使用料収入の不足分を一般会計補助金で補填。平成29年4月の料金改定により皆減。



	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
■ 一般会計補助金収入	337,807千円	211,100千円	170,230千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
■ 一般会計負担金収入	713,781千円	758,237千円	741,718千円	772,936千円	786,993千円	850,699千円	771,561千円	685,930千円	798,085千円	762,326千円
合計	1,051,588千円	969,337千円	911,948千円	772,936千円	786,993千円	850,699千円	771,561千円	685,930千円	798,085千円	762,326千円



# 4 資本的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度	令和5年度当初予算額 (A)	令和4年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減比率 (A) / (B)
資本的 収入  資本的 支出	資本的収入(a)		2,099,892	1,778,735	321,157	18.1%
	収入	企業債	1,166,000	1,085,700	80,300	7.4%
		国・県補助金(国庫補助金)	912,970	628,100	284,870	45.4%
		工事負担金(受益者負担金)	20,922	64,935	△44,013	-67.8%
	資本的支出(b)		2,881,159	2,386,945	494,214	20.7%
	支出	建設改良費	2,418,436	1,877,537	540,899	28.8%
		企業債償還金	452,723	499,408	△46,685	-9.3%
	予備費	10,000	10,000	0	0.0%	
資本的収支不足額(c) = (a) - (b)			△781,267	△608,210	△173,057	28.5%

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額で補填。

### ○主な増減理由

- 収入・・・雨水貯留管建設工事委託等の建設改良費の増加に伴う企業債借入額、国庫補助金の増加。
- 支出・・・雨水事業・浸水対策事業に係る建設改良費の増加、高利分償還完了に伴う企業債償還金の減少。





# 4 資本的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



資本的収入の収入が支出に対し不足するため、収益的収入からの損益勘定留保資金(減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金)等で補てん。

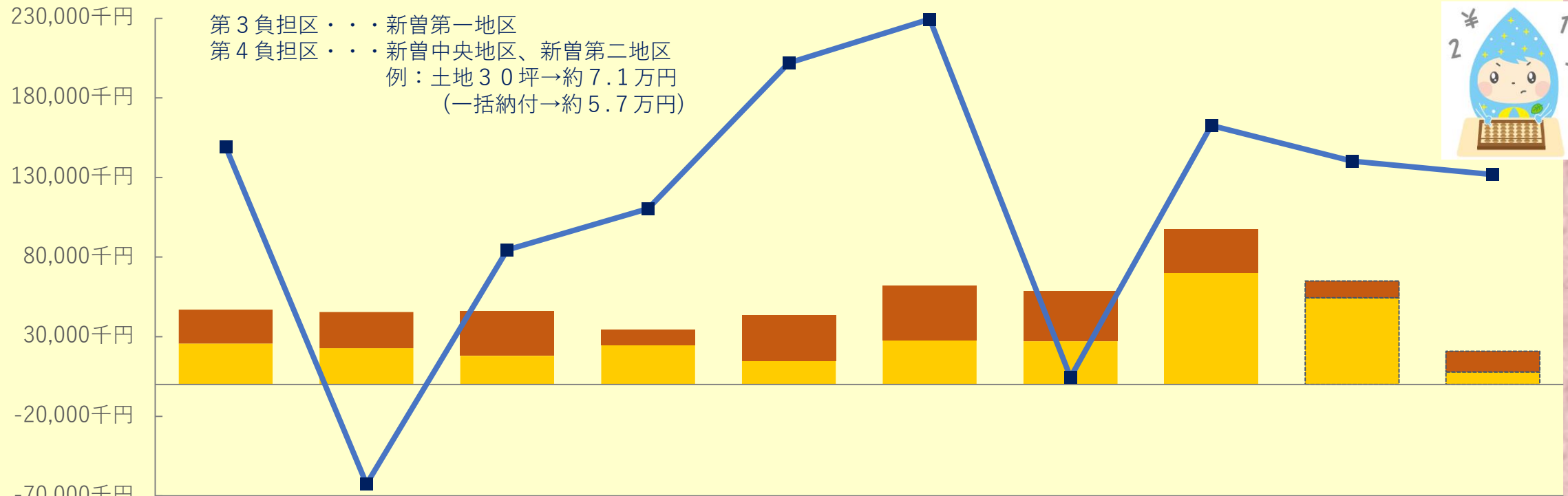


# 5 都市計画下水道事業受益者負担金収入の推移

(非課税費目)

## ●受益者負担金

新たに築造される公共下水道排水区域内の土地所有者等に対し、所有土地面積等に応じて課される負担金。  
 新年度は、新曽中央地区等における開発面積の減少に伴い減額。 ※純利益：H27特別損失(一般会計清算金)計上

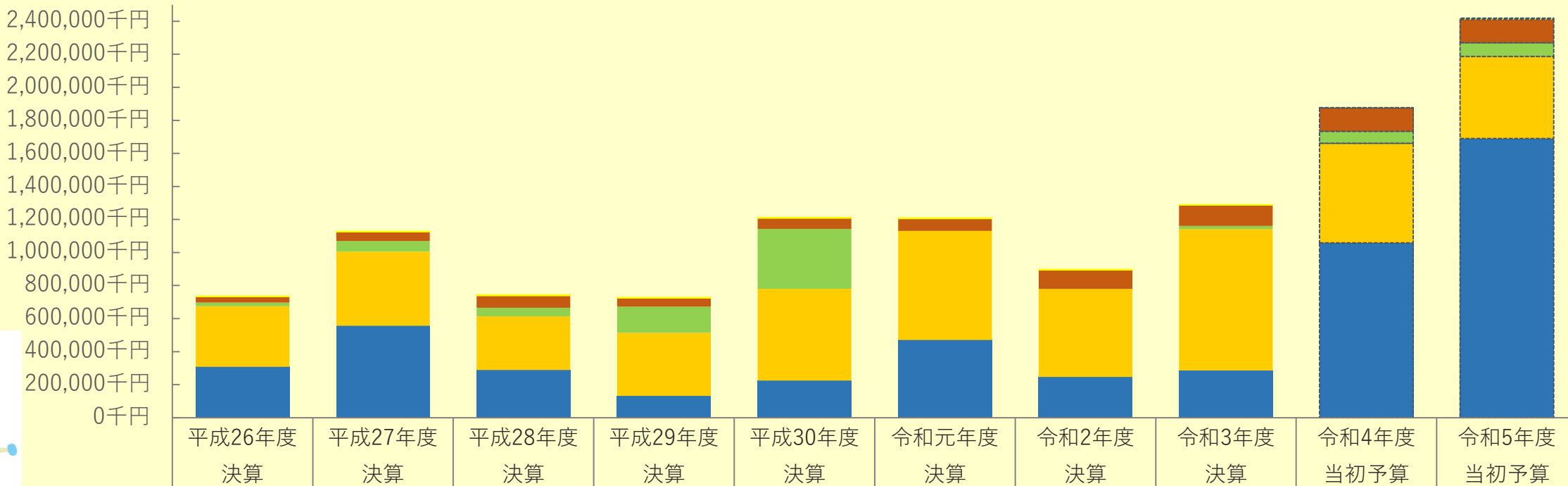


	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
合計	46,969千円	45,433千円	45,931千円	34,493千円	43,746千円	62,176千円	58,349千円	97,513千円	64,935千円	20,922千円
■ 第3負担区	21,265千円	22,573千円	28,011千円	9,587千円	28,775千円	34,224千円	31,236千円	27,653千円	10,401千円	13,060千円
■ 第4負担区	25,704千円	22,860千円	17,920千円	24,906千円	14,971千円	27,952千円	27,112千円	69,860千円	54,534千円	7,862千円
■ 純利益	149,389千円	-62,544千円	84,612千円	110,363千円	201,996千円	229,442千円	4,472千円	162,677千円	140,241千円	131,868千円

# 6 建設改良費の推移

(消費税込)

「管渠事業費[雨水]」：雨水貯留施設、管渠等の整備 「管渠事業費[汚水]」：汚水管路等の整備 「施設事業費」：ポンプ場施設の更新・改築等 「流域下水道建設費」：流域下水道施設更新、改築等の負担金 「営業設備費」：人孔鉄蓋及び受枠の製造

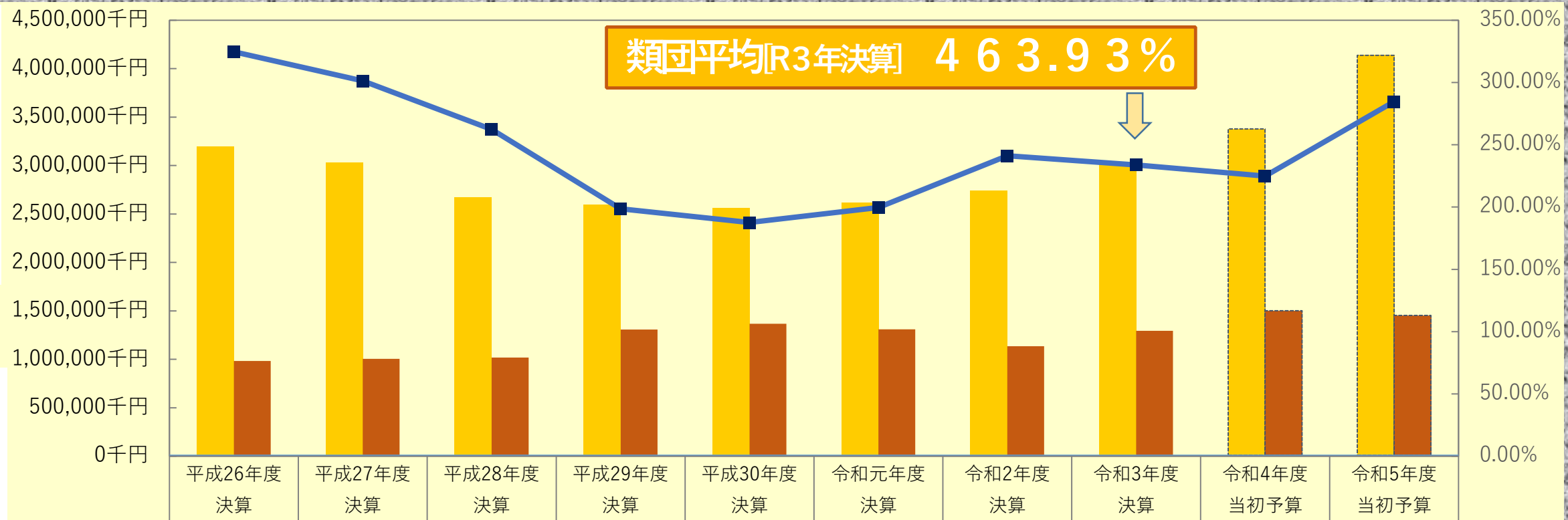


	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
■ 営業設備費	1,661千円	3,430千円	2,984千円	1,407千円	3,220千円	2,252千円	1,515千円	1,920千円	2,300千円	6,072千円
■ 流域下水道建設費	36,880千円	55,324千円	74,825千円	53,309千円	65,293千円	75,680千円	115,386千円	126,245千円	140,904千円	142,513千円
■ 施設事業費	21,330千円	64,154千円	51,330千円	157,982千円	363,350千円	0千円	0千円	18,975千円	72,798千円	82,899千円
■ 管渠事業費[汚水]	367,720千円	449,672千円	324,527千円	382,558千円	555,385千円	660,333千円	533,199千円	856,536千円	602,479千円	497,143千円
■ 管渠事業費[雨水]	307,593千円	555,703千円	288,933千円	131,355千円	224,652千円	470,433千円	246,685千円	285,417千円	1,059,056千円	1,689,809千円
合計	735,184千円	1,128,283千円	742,599千円	726,611千円	1,211,900千円	1,208,698千円	896,785千円	1,289,093千円	1,877,537千円	2,418,436千円

※ 決算値：  
繰越額含

# 7 企業債残高及び対事業規模比率の推移

(非課税費目)



企業債残高 - 一般会計負担金	3,193,615千円	3,027,592千円	2,670,775千円	2,596,857千円	2,563,919千円	2,614,642千円	2,739,162千円	3,027,351千円	3,378,495千円	4,136,498千円
営業収益 - 受託工事収益 - 雨水処理負担金	983,801千円	1,004,985千円	1,018,264千円	1,307,905千円	1,366,666千円	1,310,123千円	1,135,875千円	1,294,691千円	1,502,171千円	1,453,681千円
対事業規模比率	324.62%	301.26%	262.29%	198.55%	187.60%	199.57%	241.15%	233.83%	224.91%	284.55%

※企業債残高対事業規模比率・・・料金収入に対する企業債残高の割合で、企業債残高(企業債現在高合計から一般会計負担額を減じた額)の規模を表す指標、将来的な財政負担の状況を示す。なお、必要な管渠更新の抑制でも低下。  
 ※事業規模・・・営業収益(下水道使用料(税込)、他会計負担金、負担金等)から受託工事収益及び雨水処理負担金を減じた額。



# 8 主要な建設改良事業等について①【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

## 戸田市 雨水貯留管築造工事委託



**予算額：1,449,500千円**

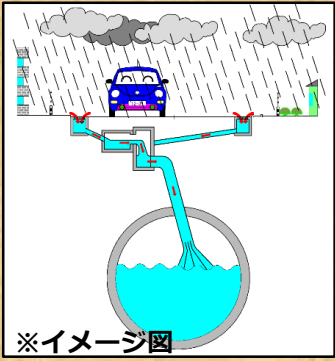
【財源内訳】

自己資金：50千円(0%)  
 企業債：724,700千円(50%)  
 補助金：724,750千円(50%)

【概要】

戸田駅西口から山宮橋付近までの北大通り地下に雨水貯留管(貯留量約26,000m<sup>3</sup>、内径6m、延長約920m)を整備。令和3年度から工事着手し、令和6年度末に完成予定。工事については、日本下水道事業団に委託し実施。

- ※ 令和5年度はシールド工及び到達立坑築造工を実施。
- ※ 令和5年度事業費(1,449,500千円)の内訳  
 第1期工事：700,000千円 第2期工事：749,500千円



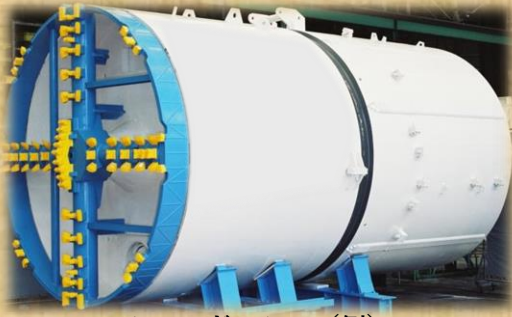
※イメージ図

【予算概要】

令和3～6年度の4カ年度事業として令和3年度当初予算において継続費を設定済み ※R5.3補正

事業費総額：7,295,000千円

【内訳】 R3：943,500千円 R5：1,449,500千円  
 ※補正 R4：743,500千円 R6：4,158,500千円



シールドマシン(例)



令和4年度施工状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本・詳細設計		← 基本設計期 → 詳細設計期 →				
第1期工事	①工事準備、シールド製作		☆協定締結 12月17日	☆工事請負契約 3月25日		
	②発進準備(シールド組立)				←→	
	③発進立坑設置			←→		
	④シールド工事					←→
第2期工事	⑤到達立坑設置				☆協定締結(予定) ☆工事請負契約(予定)	←→
	⑥付帯施設整備					←→

※設計及び工事は、地方合同法人日本下水道事業団(略称「JWS」)と委託協定を締結して実施。  
 ※早期完成の為、詳細設計で精査完了範囲から工事を2分割発注する。



# 8 主要な建設改良事業等について②【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

## 美女木北二丁目地内水路1号 改修設計業務

### 【概要】

美女木向田地域整備計画に基づき、現況で開渠となっている水路について、ボックスカルバートによる暗渠化を行い、上部空間を歩行者が通行できる通路として整備。

※ 令和6年度に工事を実施予定

### 【積算内容】

水路改修設計 延長 L=110m  
既設水路断面 1200×1200mm



予算額： 7,605千円

【財源内訳】

自己資金： 7,605千円(100%)



整備箇所現況状況



雨水函渠築造状況



# 8 主要な建設改良事業等について③【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

## 令和5年度 浸水対策工事

**【概要】**  
集中豪雨等による浸水被害の軽減を目的に、合流地区における雨水柵や浸透柵の設置を実施する工事

**【積算内容】**  
雨水柵設置(取付管含む) 15箇所

**【関連事項】**  
浸水対策工事 実施状況(令和元年以降)  
令和元・2年度 浸透柵等の設置 約70箇所 (本町・氷川町)  
令和4年度 側溝改修工事 (喜沢南1)



**予算額： 15,991千円**

**【財源内訳】**  
自己資金： 91千円( 1%)  
企業債： 15,900千円(99%)



雨水柵  
設置状況





# 8 主要な建設改良事業等について④【下水道施設課(管渠事業費[雨水])】

## 令和5年度 公共下水道雨水築造 (その1) 工事

**【概要】**  
 令和5年度の雨水管渠整備(L=288.10m)により、雨水整備率：72.50%となる。未整備地区である新曽地区及び笹目地区の北大通り以北の整備を進める。 [金森橋南側]

**【積算内容】**  
 雨水築造工事 L=129.90m



**予算額： 79,021千円**

**【財源内訳】**  
 自己資金： 11千円( 0%)  
 企業債： 48,800千円(62%)  
 補助金： 30,210千円(38%)

雨水整備率	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
	実施	予定	予定
	72.04%	72.13%	72.20%

## 令和5年度 公共下水道雨水築造 (その2) 工事

**【概要】**  
 令和5年度の雨水管渠整備(L=288.10m)により、雨水整備率：72.50%となる。未整備地区である新曽地区及び笹目地区の北大通り以北の整備を進める。 [惣右衛門公園西側]

**【積算内容】**  
 雨水築造工事 L=158.20m



**予算額： 69,900千円**

**【財源内訳】**  
 自己資金： 70千円( 0%)  
 企業債： 43,100千円(62%)  
 補助金： 26,730千円(38%)





# 8 主要な建設改良事業等について⑤【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

## 令和5年度下水道改築等設計業務



**予算額： 30,036千円**

【財源内訳】

自己資金： 20,276千円(67%)

補助金： 9,760千円(33%)

### 【概要】

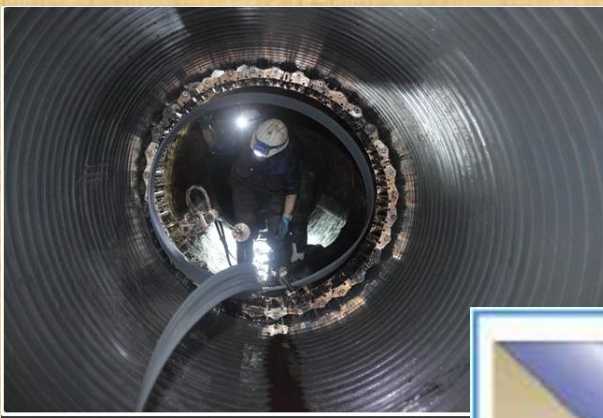
戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化を迎えた管路について、点検結果を踏まえ、改築工事を実施するための設計業務を行うもの。

管路の損傷内容や現場状況に応じた改築工法を選定し、設計図、数量計算書等の工事発注に必要な資料を作成する。

### 【積算内容】

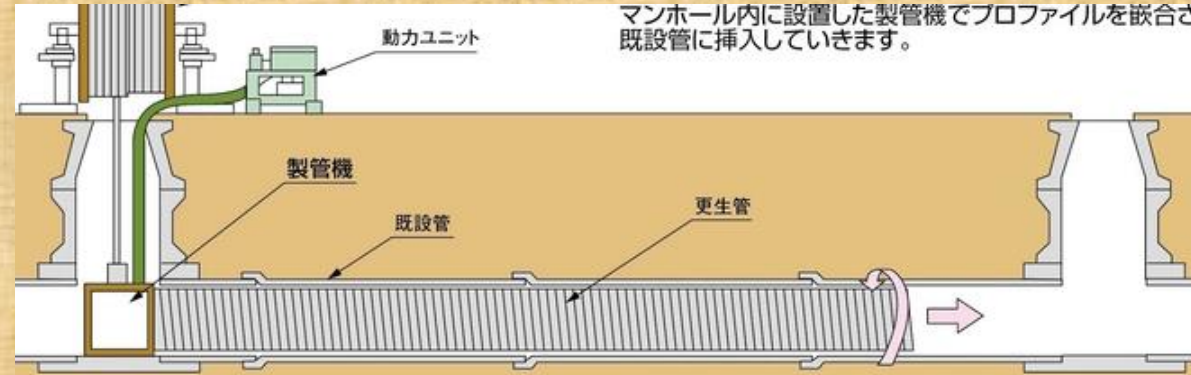
- 布設替工 約3.5 km
- 管更生工 約3.6 km

管更生工法作業状況  
例① 引用元：SPR工法協会

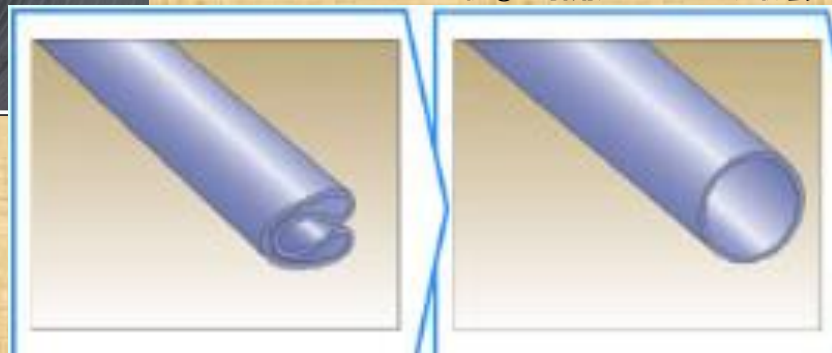


管更生工法  
例① 引用元：SPR工法協会

マンホール内に設置した製管機でプロファイルを嵌合させ既設管に挿入していきます。



管更生工法  
例② 引用元：SPR工法協会



既設管の内側に更生管を製管し、既設管と更生管の間隙に特殊裏込め材を充填。古くなった管きよを既設管・更生管・裏込め材が一体となった強固な複合管として蘇らせる工法

折り畳んだ状態の更生管を既設管に引き込み、蒸気で加熱することで円形に復元し圧縮空気により既設管と密着させ強固な自立管を構築する工法



# 8 主要な建設改良事業等について⑥【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

## 令和5年度マンホール耐震化実施設計業務



**予算額： 23,729千円**

**【財源内訳】**

自己資金：16,019千円(68%)

補助金：7,710千円(32%)

**【概要】**

戸田市下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送道路等のマンホールの耐震化を図るため、令和4年度マンホール耐震化調査業務の結果を踏まえ、耐震化工事の詳細診断及び実施設計を行う。

**【業務内容】**

マンホール耐震化については、液状化による浮上防止対策及びマンホールと管きよの接続部における可とう性継手の設置等を行うもの。

様々な工法から詳細診断の結果に基づき、適した工法を選定し、図面等の仕様書を作成する。

アンカーウイング工法	ハットリング工法
<p>アンカーウイング工法は、地盤の定着層へアンカー部を回転貫入により打設し、ロッド・頭部固定金具を介してマンホールの浮上を物理的に拘束する工法である。</p>	<p>ハットリング工法は、標準深さ1.0mの位置にドーナツ状のブロック（浮上抑制ブロック）を設置し、ブロックの自重とブロック上面の埋め戻し土（砕石）の重量を利用して、マンホールの浮き上がりを抑制する工法である。</p>
フロートレス工法	アースドレーン工法
<p>フロートレス工法は、マンホールの壁に地震時に発生する過剰間隙水圧を消散させる為の弁を設けることで、マンホール周辺地盤の液状化現象を抑え、マンホールの周面摩擦を確保することで、マンホールの浮上りを抑制する工法である。</p>	<p>アースドレーン工法は、透水性の高い人工ドレーンをドレンホックにて埋設し、地震により発生する液状化現象の原因である過剰間隙水圧を速やかに消散させ、地盤の液状化を防ぎマンホールの浮上りを抑制する工法である。</p>

マンホール耐震化工法例 浮上防止対策

マグマロック工法	GR工法	貼ル段治 [ハルダンジ]	既設人孔耐震化工法 (ガリガリくん)
第1316号 タイプⅢ	第1437号 タイプⅠ	第1505号 タイプⅡ	第1516号 タイプⅠ
マンホールに接続する管きよに一定の深さで円周状の切込み（誘導目地）を設け、地震時にひび割れを誘導することでマンホールと管きよをシームレスな構造とし、接続部の影響を小さくする。	マンホールの管口周囲に一定の深さでアンカーボルトを設置し、内部に更生管をマンホール内側に突出させる形で施工し、可とう性止水ゴムを既設マンホールと更生管突出部に固定する。	インパートの一部を撤去し、マンホール内面を下地処理した上で、更生管の外側に本体ゴムを差し込みマンホール壁に接着剤を貼り付け、ステンレスバンドに固定、本体をモルタルで被覆してインパートを修復する。	対象管きよの外周部を切削し、マンホールと管きよを縁切りした後、切削した溝にポリウレタン系弾性シーリング材を充填し、接続部を弾性構造にする。

マンホール耐震化工法例 可とう性継手



# 8 主要な建設改良事業等について⑦【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

## 令和5年度 公共下水道污水築造 (その1) 工事

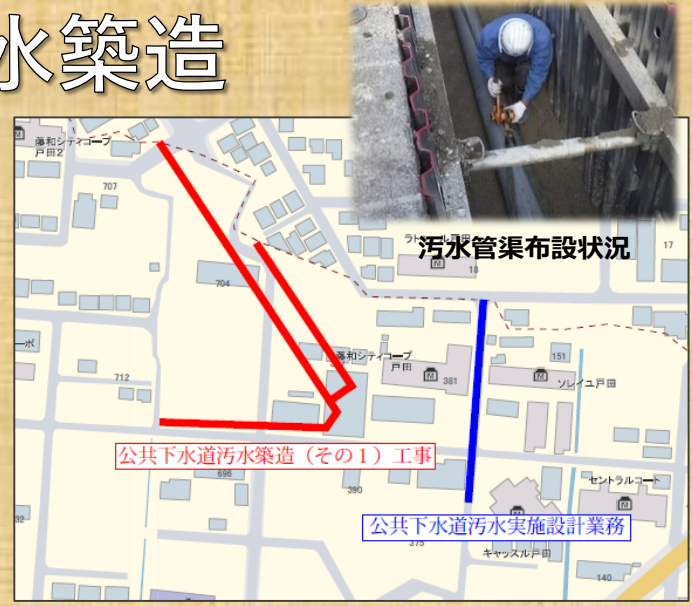


### 【概要】

令和5年度の污水管渠整備(L=638.60m)により、污水整備率：96.16%を達成。新曽中央地区は概ね整備が完了となり、以後、土地区画整理事業の進捗に合わせて事業を進めていく。[埼京線東側蕨市境]

### 【積算内容】

污水築造工事 L=350.60m



**予算額： 93,861千円**

### 【財源内訳】

自己資金： 84千円(0%)  
 企業債： 65,600千円(70%)  
 補助金： 17,600千円(19%)  
 受益者負担金： 10,577千円(11%)

汚水整備率	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
	実施	予定	予定
	95.56%	96.01%	96.16%

## 令和5年度 公共下水道污水築造 (その2) 工事

### 【概要】

令和5年度の污水管渠整備(L=638.60m)により、污水整備率：96.16%を達成。新曽中央地区は概ね整備が完了となり、以後、土地区画整理事業の進捗に合わせて事業を進めていく。[図書館西側]

### 【積算内容】

污水築造工事 L=282.00m



**予算額： 87,658千円**

### 【財源内訳】

自己資金： 10千円(0%)  
 企業債： 56,800千円(65%)  
 補助金： 20,970千円(24%)  
 受益者負担金： 9,878千円(11%)



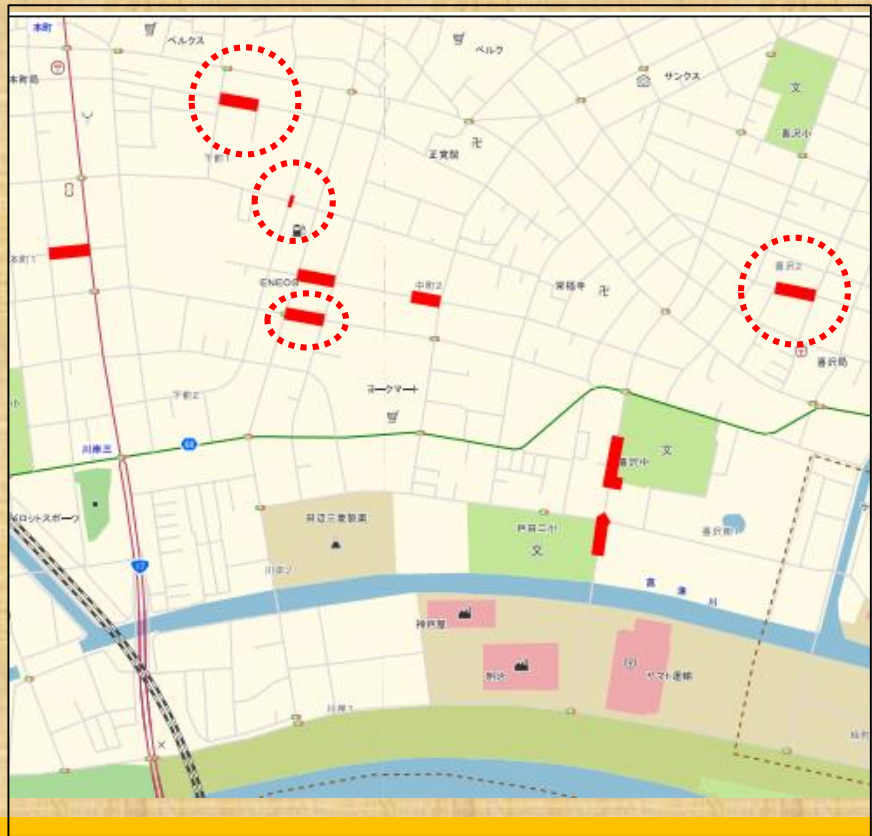
# 8 主要な建設改良事業等について⑧【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

## 令和5年度 公共下水道 汚水改築(その1)工事

**【概要】**  
戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化を迎えた管路について、点検結果を踏まえ、改築工事を実施。  
[下前：3、喜沢：1]

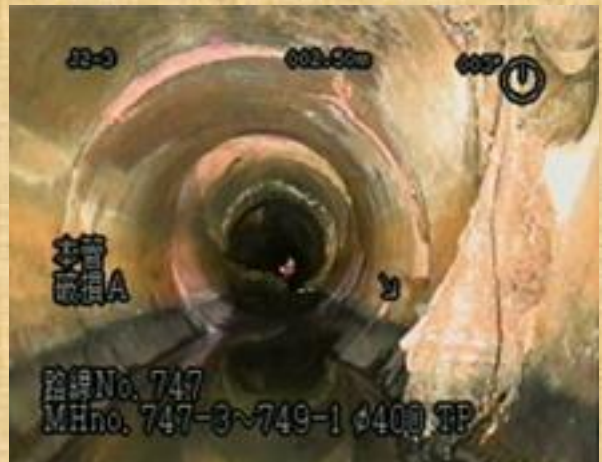
**【積算内容】**  
布設替工  
Φ700,900,1800  
約202m

**【関連事項】**  
令和3年度  
点検調査  
  
令和4年度  
改築設計業務  
  
令和5年度  
改築工事



**予算額： 79,314千円**

**【財源内訳】**  
自己資金：59,924千円(76%)  
補助金：19,390千円(24%)




※イメージ図

**老朽化した管路**  
腐食・クラック・侵入水等が発生し、排水不良・道路陥没に繋がる恐れがある



更新した管路  
(更生工)

※対象工事箇所 

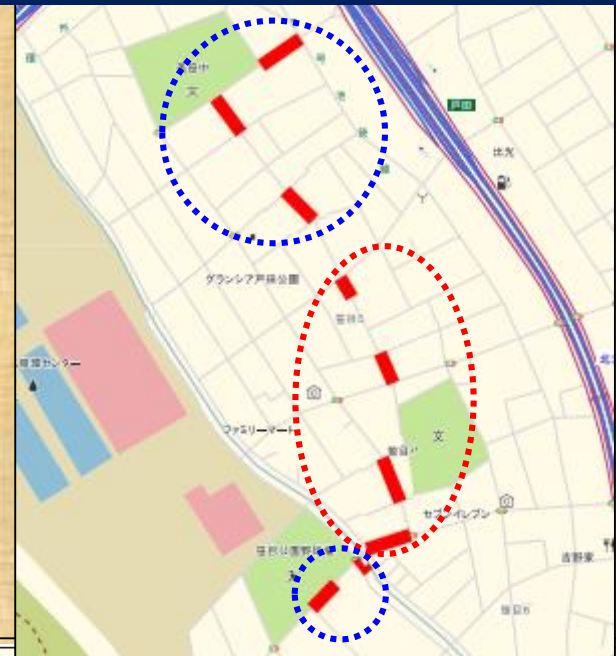


# 8 主要な建設改良事業等について⑨【下水道施設課(管渠事業費[污水])】

## 令和5年度 公共下水道 汚水改築(その2)工事

**【概要】**  
 戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化を迎えた管路について、点検結果を踏まえ、改築工事を実施。 [笹目：4、本町：1、喜沢南：1]

**【積算内容】**  
 布設替工  
 Φ350 約340m



**予算額： 72,548千円**

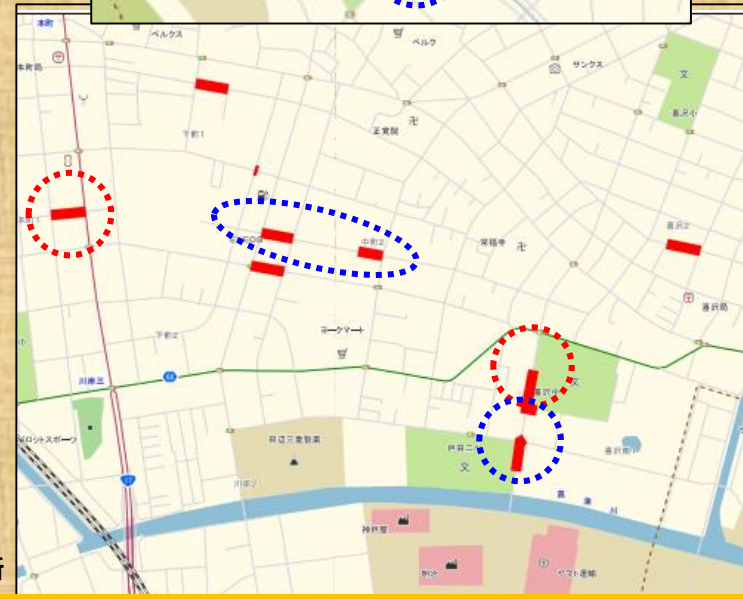
**【財源内訳】**  
 自己資金：54,798千円(76%)  
 補助金：17,750千円(24%)



## 令和5年度 公共下水道 汚水改築(その3)工事

**【概要】**  
 戸田市下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化を迎えた管路について、点検結果を踏まえ、改築工事を実施。 [笹目：5、下前：2、喜沢南2、戸田公園：1]

**【積算内容】**  
 布設替工 Φ400,600 約186m  
 更生工 Φ200~350 約280m



**予算額： 63,826千円**

**【財源内訳】**  
 自己資金：43,066千円(67%)  
 補助金：20,760千円(33%)





# 8 主要な建設改良事業等について⑩【下水道施設課(施設事業費)】

## 笹目第9排水区他排水施設設計業務

### 【概要】

笹目川の逆流防止ゲートが未整備の吐口において、豪雨時の河川からの逆流防止及びポンプによる内水排除を目的として、ポンプゲートを用いた排水施設を整備。  
[富士見大橋付近、同下流]

※ 令和6年度以降に工事を実施予定

### 【積算内容】

排水施設実施設計	笹目第9排水区	総排水量1.1m <sup>3</sup> /s
2箇所	笹目第10排水区	総排水量1.1m <sup>3</sup> /s



**予算額： 61,413千円**

### 【財源内訳】

自己資金： 13千円( 0%)  
企業債： 61,400千円(100%)



笹目第9排水区吐口  
(川表)



笹目第10排水区吐口  
(川表)



笹目第9排水区吐口  
(川裏)



笹目第10排水区吐口  
(川裏)